

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年 9月19日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	放水口放射線モニター試料採取ポンプにおいて、ポンプ入口ホースの不具合により、「流量異常」警報の発生及びポンプの自動停止が認められたため、原因調査及び当該ホースを交換。 なお、予備側のホースに切り替えを行いポンプの運転・試料採取ができていないため、放射線管理上の影響はない。	GⅢ	9月17日
2	2号機	中央制御室遠隔操作監視装置(No. 37 屋外軽油タンクエリア)監視カメラにおいて、映像不良(モニター上に「ノースIGNAL(無信号)」の表示と復帰を繰り返している)が認められたため、当該カメラを点検・修理。 なお、当該監視エリアのカメラ修理完了までの期間は、定期的な現場確認にて異常のないことを確認している。	GⅢ	9月13日
3	4号機	原子炉補機冷却系第2中間ループ熱交換器(B)において、点検中に伝熱管全3328本中、1本に判定値(減肉率53%未満)を超える減肉が認められたため、当該伝熱管に閉止栓取付。 なお、当該伝熱管の閉止許容本数(164本以内)に対し、今回の1本を含めても合計2本閉止であるため、熱交換性能に影響はない。	GⅢ	9月13日
4	4号機	原子炉建屋付属棟北側エリア管理区域境界集積線量計において、データ異常(平常時:168時間評価値が0.012mSv程度であるところ、12mSvを指示)が認められた。 なお、手動測定により当該エリアの線量上昇がないことを確認できたことから計測器の不良と判断し、当該集積線量当量計を交換。	GⅢ	9月18日